



世界自然遺産
Amami World Heritage Trail

奄美トレイル 事業概要

世界自然遺産 奄美トレイルは、奄美群島をつなぐ長距離の自然歩道です。

亜熱帯の森や、白い砂浜、珊瑚の石垣のある集落など、奄美ならではの自然や文化に触れあうことのできる10km程度のコースを地域の方々と一緒に選定し、最終的にはそれらをつないで1本の長いルートを作ります。

平成28年度からコース選定を開始し、選定作業が終わったコースは順次開通します。

目的

- ・奄美群島固有の自然と文化への理解を促進する。
- ・人と人との交流を通して地域の元気と奄美ファンを創出する。
- ・島から島へと人を誘導し、群島全体の地域経済や産業の振興に資する。
- ・島と島のつながりをさらに強くする。

コース選定の考え方

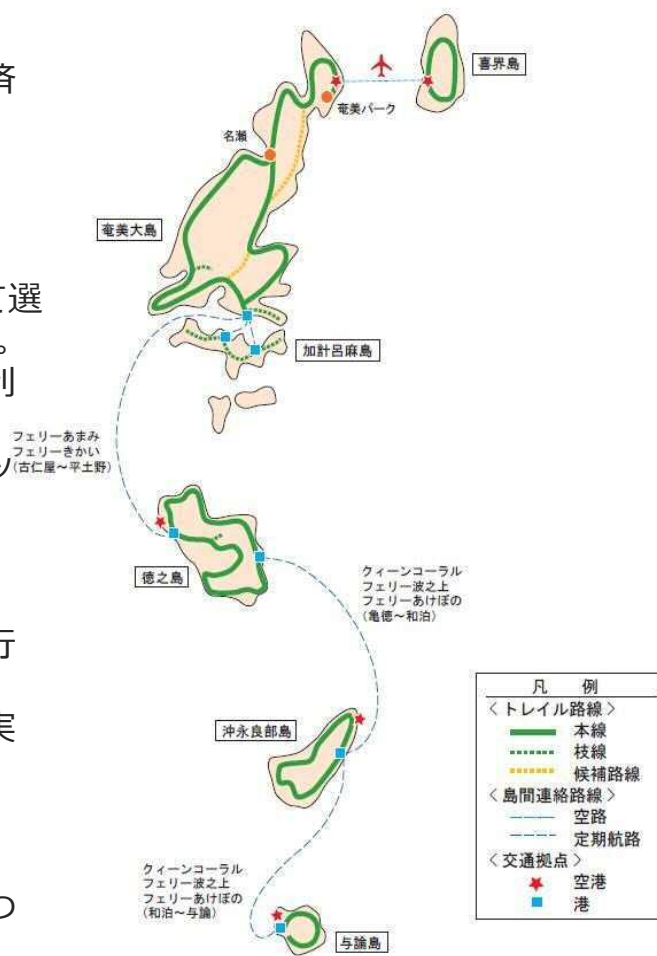
- ・既存の道を中心に、10km程度をコースとして選定し、それらを繋いでロングトレイルとします。
- ・自然、文化、歴史等の地域の魅力や安全性、利便性等を考慮して、コースを選定します。
- ・コース選定は、地域住民参加型のワークショップや現地調査等を通して行います。

管理運営の考え方

- ・コースの路面の維持管理は道路の管理者等が行うことを基本とします。
- ・利用者へのサービスや普及啓発等を継続的に実施する地域の体制を構築していきます。

今後の進め方

- ・全体を14地域に分け、1年で3～4地域ずつコース選定を行います。
- ・コース完成後、マップ印刷、標識設置を行い順次開通します。
- ・平成33年度の全線開通を目指します。



《トレイル概略路線図》



コース選定

住民参加型のワークショップや現地調査を重ねて魅力の高い道をコースとして選定。

- ◆H28年度 奄美市住用町・伊仙町・和泊町・知名町
- ◆H29年度 宇検村・喜界町・徳之島町・与論町
- ◆H30年度 奄美市名瀬・大和村・瀬戸内町・天城町
- ◆H31～32年度 奄美市笠利・瀬戸内町・龍郷町
- ◆H33年度 全線開通予定



マップ作成

ルート図，コース紹介文等を掲載したマップを印刷・配布。



標識整備

総合案内標識，誘導標識，解説標識等を整備。
H29年度～H33年度に順次整備。

シンボルマーク募集

世界自然遺産登録に対する理解と関心を高めるため，シンボルマークを作成。
公募で集まった273作品から審査の結果，
H29年10月に決定。



世界自然遺産
奄美トレイル
Amami World Heritage Trail

広報活動

コース選定の翌年度に該当市町村で開通イベントを実施。
Facebookで随時情報を発信。



奄美トレイル フェイスブック

検索